



# わかあゆ

WAKA - AYU



## 基本理念

- 1 私たちは、政策医療ならびに地域ニーズに応じた一般医療をおこないます。
- 2 私たちは、患者様の立場や権利を尊重し、患者様中心の医療をおこないます。
- 3 私たちは、良質で安全な医療を提供します。
- 4 私たちは、常に改革心を持ち、健全な経営をめざします。

## 目次

20 **春** 10  
第15号

広報誌 / 年4回発行

発行：国立病院機構 宇都宮病院  
発行日：平成 22年 4月 1日  
発行責任者：沼尾利郎

新人看護師研修の充実に向けて  
 当院のNST(栄養サポートチーム)の活動について  
 新しく始めた「抗癌剤調製業務」について  
 医療連携学術講演会  
 平成2年度臨床検査技師技能研修(輸血)に参加して

1	実習指導者講習会を受講して	5
2	C検査 目で見る造影剤の簡単なお話	6
3	なかよし保育園	6
4	外来診療担当医表	7
5		



## 新人看護師研修の 充実に向けて

前看護部長 福田 淑江

4人、11人、17人、これは当院の平成 20年、21年、22年の新採用看護職員における「新人看護師」の人数です。この数は看護師確保困難施設として、ここ数年来病院一丸となって募集活動に取り組んだ成果でもあります。看護部では昨年 4月、全職員

で新人看護師の育成を見守る体制として「新人看護師教育サポートシステム」をスタートさせました。5月には下野新聞に「学びと現場の乖離を埋める - 新卒看護師チームで教育 - 」として取り上げられ、県内の方々にも広く知っていただく機会となりました。そして 8月の統一採用試験では応募理由として「新人看護師の教育が充実しているから」と答えた学生が多くみられ、就職後の教育体制の充実が看護師確保の上で大きな比重を占めているということを実感しました。

平成 21年 7月「保健師助産師看護師法」「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の一部が改正され、平成 22年 4月から、新たに業務に従事する看護職員の臨床研修等が努力義務とされました。平成 21年末、厚生労働省より出された「新人看護職員研修ガイドライン」を開いてみると、「全職員が新人看護師に関心を持ち、皆で育てるという組織文化の醸成が重要である」と書かれています。また、「新人看護職員研修は、基礎教育では学習することが困難な、医療チームの中での複数の患者を受け持ち、多重課題を抱えながら、看護を安全に提供するための臨床実践能力を強化することに主眼をおくことが重要である」とも書かれています。このガイドラインを確認しつつ国立病院機構看護職員能力開発プログラム「Actyナース」を基に、そして昨年度の研修評価を参考に平成 22年度新人看護師の研修計画を立案しました。

当院では 21年度より全病棟に新人看護師を配置したこともあり、重症心身障害児（者）病棟では経験できない看護技術を経験することを目的に、一般病棟での研修を企画・実施しました。「一般」「障害」「結核」と 3つの病床区分を持つ施設として、新人看護師として 1年以内に経験し習得すべき看護実践能力を身につけるための研修のあり方を検討することが、新人看護師育成と職場定着を図る上で重要であることを再確認しました。

また、ガイドラインでは新人看護職員が自らの目標を持ち、獲得した能力や成果を蓄積するためにはポートフォリオやパーソナルファイルと呼ばれる研修手帳（研修ファイル）の利用が有効であるとしています。「自己の成長記録」「経験の蓄積の可視可」そして「他者へ経験を伝える手段」としていますが、これは新人看護師の早期離職の原因ともなる自尊感情の低下を防止することに繋がると考えます。平成 22年 2月、看護師長・副看護師長合同で「ポートフォリオ」の研修を開催しました。ポートフォリオの研修では「今のあなたで良いのです」というメッセージを伝えること、「ここができていない」というマイナス評価ではなく、「これだけのことができるようになった」というプラス評価をすること、そして効果的に発問し、考えを広げ深められる関わりが重要であるということを学び、時季を得た研修となりました。

新たな職員を迎え新年度がスタートします。今年度は一般病棟の入院基本料 10対 1の上位基準取得を目指しています。患者満足、職員満足、そして病院経営の上で大きな転換期となることを願っています。



栄養管理室 主任栄養士 柴崎 容子

当院では、多職種によるチーム医療の1つであるNSTの活動を行っています。

NSTとはNutrition Support Teamの略で、日本語では「栄養サポートチーム」と訳されています。病院で薬を処方される場合、その人の病態・状態にあわせた薬が処方されますよね？栄養管理も同じで、患者さんの栄養状態にあわせた病院食の提供や輸液（点滴）・経腸栄養（鼻の管やお腹から栄養剤をいれる方法）を行う必要があります。栄養管理は全ての治療に共通する医療行為の基本であり、治療効果向上にも必要不可欠なものです。

NSTの中心活動の1つが、毎週火曜日に行っているNST回診です。NST回診は現在、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士・ソーシャルワーカーで行っています。入院時に全ての患者さんに行われる栄養評価により、NST介入が必要とされた方を対象に、適切な栄養管理がなされているかをチェックし、最もふさわしい栄養管理法の指導・提言をし、栄養管理上の疑問に答えることが、NSTの役割です。NST回診の対象となる方は低栄養もしくは低栄養になると予測される方ですが、主に、管から栄養剤を注入している方、食事の飲み込みが悪く口から食べることが不十分な方、口から食べることはできるが胃や腸などの消化器の使用が好ましくない方等です。「口から食べる」（経口摂取）ができない場合、他の方法（経静脈栄養・経腸栄養）で栄養状態を良くするように栄養管理を行います。やはり、栄養管理の上で、「口から食べる」ということは、一番の栄養法であり、最終目的であると思います、活動しています。

なお、褥瘡（じょくそう：床ずれのこと）がある方は低栄養の方が多いため、NST回診と同時に褥瘡回診も行い、連携をしています。NSTの活動は回診の他に、月1回の委員会があります。委員会メンバーはNST回診メンバーの他に、回診には参加できない職種も参加し、病院全体でNSTを行っています。また、本年はNSTで栄養剤の注入に関するマニュアルの作成、職員対象の勉強会を開催する等、正しく栄養評価ができるように院内での啓蒙活動も行っています。

「栄養管理は全ての医療の基本」という気持ちを常に抱き、チームの中でいかに専門性を発揮できるかを模索して、多職種と共同で栄養管理を行い、患者さんやご家族のQOL=Quality of Life(生活の質)が向上するよう、日々活動していきたいと思っています。



## 看護師募集



職種

常勤看護師（病棟勤務） パート看護師（週1回程度の夜勤）

新卒者、既卒者でブランクのある方も研修があり安心です。

お問い合わせ

月～金曜日 8:30～17:00

TEL 028-673-2111（庶務係へ）

いつでも  
ご相談に  
応じます

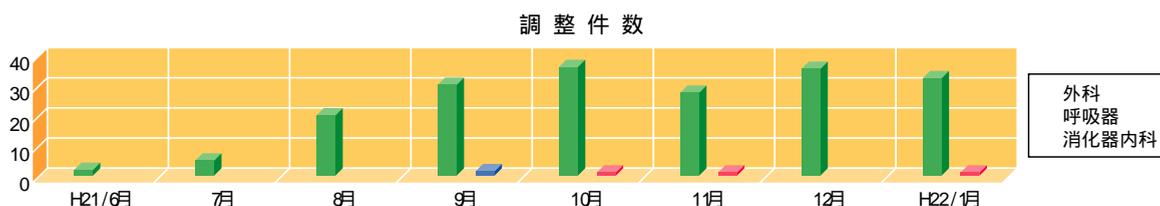
# 新しく始めた「抗癌剤調製業務」について



前副薬剤科長 糸井重勝

## はじめに

これまで当院では、医師が多忙のなか抗癌剤調製にかなりの時間をかけて行っていました。熱田薬剤科長が昨年4月に就任し、6月には医師不足という状況の中で薬剤師ができる仕事を担う一環の業務として、「スキルミックス」の号令のもとこの業務の開始を命じられました。当時、私と小野主任で計画を練り当月から試行を始め、8月から全面調製とし、11月からは「無菌製剤処理」の算定請求をすることができました。



## 抗癌剤調製とは

抗癌剤は治療域と副作用発現域が非常に狭く、使い方を誤れば毒にもなる危険な薬です。そのため、現在ではその投与量、投与回数、休薬期間、また副作用を抑える支持療法などを時系列順に決めたレジメンに従って投与が行われています。また、近年では新しい作用機序の抗癌剤や短時間で実施可能な投与方法の開発、副作用対策の確立により、患者様の生活に合わせて外来でも治療を行うことができるようになってきています。

薬剤師は入院・外来ともに、医師より処方された注射箋にもとづいて安全キャビネット内で抗癌剤を無菌的に調製し、抗癌剤の副作用対策についてリーフレット等を使用して患者さまに薬剤情報提供を行っています。

## 当院での抗癌剤が患者さまに届くまで

### 1. 前々日



注射箋の FAX  
↓  
注射箋をチェック、  
調製量計算、  
患者さまラベル作成  
↓  
確認

### 2. 前日



取り揃え  
↓  
個人セット  
↓  
確認  
↓  
保管

### 3. 当日 医師調製 確定連絡



## おわりに

当院ではレジメン印刷された注射箋で運用し、薬剤師がそれをチェック及び抗癌剤管理簿で薬歴、投与間隔を確認しています。その後、薬剤毎に異なる保管、溶解方法を熟知し、正しい調製手技を習得した薬剤師が調製を行います。さらに告知済みで理解力のある患者さまには貴船主任が服薬指導を実施することで、均一で質の高い医療を提供できるよう心がけています。

# 医療連携学術講演会

外来診療部長 佐藤 稔

近隣の医療機関との連携をより一層推進するため、第3回～5回の「医療連携学術講演会」を開催しました。各回とも約60-70人の参加者があり大変好評でしたので、その内容を報告させていただきます。



加藤 教授



平田 教授



福田 教授

第3回（平成22年1月28日）

一般講演：「本当は怖い胆道系疾患—当院の腹腔鏡手術成績から—」

国立病院機構宇都宮病院 診療部長 増田 典弘 先生

特別講演：「ガイドラインに基づいた食道がん診療の最前線」

獨協医科大学第1外科学 教授 加藤 広行 教授

第4回（平成22年2月18日）

一般講演：「当院における障害者病棟の現状」

国立病院機構宇都宮病院 神経内科医長 伊藤 雅史 先生

特別講演：「頭痛診療の最前線—最新の診断と治療—」

獨協医科大学神経内科 教授 平田 幸一 教授

第5回（平成22年3月3日）

一般講演：「胸腔鏡手術の進歩—気胸・膿胸・肺癌など—」

国立病院機構宇都宮病院 外科医長 伊藤 知和 先生

特別講演：「プライマリ・ケアにおける呼吸器疾患の診かた」

獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科教授 福田 健 教授

第3回は外科疾患がテーマであり、増田先生は急性胆のう炎・胆管炎を中心に実際の症例を示しながら、有熱の黄疸では初期対応が重要であり症状が急激に変化する点を強調しました。加藤教授はご自身が中心となって作成された「食道がん診療ガイドライン」について、進行度分類におけるPET/CTの有用性や内視鏡診断の進歩、手術と化学放射線療法との有効性の相違などをわかりやすく講演されました。第4回は神経疾患を主題として、伊藤雅史先生は「障害者病棟」の対象疾患となる主な神経難病について概説してから、本県の診療体制や当院の現状・課題・展望などをユーモアを交えて解説しました。平田教授は昨年ご自身が主催された「日本頭痛学会」の報告を述べてから、女性に多い片頭痛と緊張型頭痛との相違点や特効薬であるトリプタン服用のタイミング、さらに薬物乱用頭痛や月経関連片頭痛などについて、難しい内容を理解しやすく講演していただきました。第5回は呼吸器疾患に関して、伊藤知和先生は胸腔鏡の適応疾患やその利点・技術的な進歩などを述べ、当院での症例が増加している現状を報告しました。福田教授は最初に「COPD（慢性閉塞性肺疾患）や肺炎、肺癌は今後ますます増加する」というWHO（世界保健機構）の予測を述べ、呼吸器疾患は注意深い身体観察と要点を押さえた問診によりかなりの所まで診断可能であることを、豊富な症例を示しながら強調されました。また、酸素療法や酸素飽和度測定時の注意など「日常診療の落とし穴」についても言及されて講演を終了されました。

ご多忙中にも関わらず特別講演をお引き受けいただきました加藤教授・平田教授・福田教授の諸先生方、および数多くの参加者の皆様に改めて感謝申し上げます。



## 平成21年度臨床検査技師技能研修(輸血)に参加して

検査科 小川 佳亮

平成21年度臨床検査技師技能研修2(輸血)が平成22年2月6日(土)～7日(日)の2日間の日程にて開催されました。今回の研修は、輸血治療に関する専門的および判断技術を習得し、輸血の安全性の向上に寄与することができる臨床検査技師の育成と輸血治療の安全体制の充実を図ることを目的に行われました。

研修初日は国立病院機構本部講堂にて、輸血治療や副作用、検査方法など、輸血検査で起こるあらゆる場面を想定した講義が行われました。2日目は会場を移し、東京文化短期大学にて輸血検査の実技を行い、実技結果による問題点の指摘・解説をしていただきました。

本研修に参加し、より安全な検査方法や輸血マニュアルの改善点を発見することができ、大変貴重な経験や知識を身につけることができました。そして、「輸血の安全は正しい検査があってこそ成り立つ」ことを、改めて強く認識致しました。また、どんなにミスなく正確に検査しても、安全に患者さまに届かなければ全く意味がないものになってしまいます。輸血業務にかかわる全てのスタッフが検査時、払い出し時、使用時などにおいて、指差し呼称やダブルチェックなど十分に行い、患者誤認防止等に努めなくてはなりません。

当院は、時間外検査の対応には輸血担当者以外の技師が検査を行うことも数多くあります。本研修で学んだ貴重な知識や経験を検査科スタッフに伝達し、正しい検査方法の習得、知識・技術の向上など、現状での対応を再確認し、より安全な輸血検査を心掛け、安全な輸血治療に貢献できるよう、取り組んでいきたいと思っております。

今回の輸血研修参加にあたり、ご尽力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。



東京文化短期大学にて

## 実習指導者講習会を受講して

西5病棟 副看護師長 廣田 しのぶ

平成21年9月から12月の間に41日間、国立病院機構本部で、実習指導者とはどのような役割があるのか、実習生を受け入れるとはどういうことなのか、指導するとはどういうことなのかという内容で研修を受けました。まず、今までの考えを改めさせられたのは、実習とは臨床の場で行う授業であるため、実習指導者は単なる指導ではなく臨床の場での教師の役割を担うという大きな責任があるということです。恥ずかしい話ですが、実習に来ているのだからもっと積極的になってほしいという思いがありました。でも、臨床の場での教師となると、それぞれの子の長所を伸ばして看護ができるようになってほしい、看護に興味をもてるようになってほしい、看護の楽しさを知ってもらいたいというように今までとは違う視点で学生をみるできるようになりました。

また、学校ごとにどのような看護師になってほしいかという「願い」が違うため、学校側の教育目的・目標を熟知しなければならないと反省させられました。当院では各領域の実習を受け入れています。残念ながら現状では忙しさばかりが前面に出てきていて、各病棟の良さを知らずともなく実習が終わってしまっている気がします。今後は当院でしか学ぶことのできない看護を前面に出していき、学生が良い授業を受けられるよう環境の調整をしていかなければならないと思われました。



## 病院ボランティア募集

当院では、外来患者さまのご案内、院内外環境整備(清掃・除草等)などをしていただける病院ボランティアの方を随時、募集しております。あなたのやさしさをお待ちしております。

問い合わせ先：病院管理課まで(電話：028-673-2111 内線141)

## CT検査 目で見る造影剤の簡単なお話

診療放射線技師 村 館 佳 将



写真1(造影なし)



写真2(造影あり)

放射線科で検査に使われる造影剤には沢山種類がありますが、中でも今回はCT検査で使われることのある、ヨード造影剤についてのザックリとしたお話です。「映りを良くするお薬を注射します」なんて簡単な説明をさせていただいておりますが、まずは造影剤を使うとどうなるのか、写真で見てください。

写真1は造影剤を使う前。肝臓や腎臓など映っていますが、わかりやすいでしょうか。ちょっとわかりづらいかもかもしれませんね。写真2は造影剤を静脈から注射したあとの写真です。同じ場所の写真ですが違いがはっきりとしています。簡単に言いますと濃淡がはっきりして臓器の形が見えてきていますよね。このように血管(静脈)に注射した造影剤は血液と一緒に心臓へ戻り、また送り出されて全身に行き渡ることによって、写真2の写真のように身体の中をくっきりはっきりさせ、病気の有無や性質などをより正確に見えるようにする効果をもたらしてくれます。

ヨード造影剤は広く使われている安全な薬ではありますが、くっきり見える効果がある反面、身体には嬉しくない効果をもたらすことも、ごく稀にあります。そのため、造影検査を受ける際には、主治医の説明をよく聞いていただきますようお願いいたします。また、造影剤について分からないこと、検査に関して不安なことがありましたら、医

## なかよし保育園

園長 枝野 幸子

なかよし保育園は、「子どもを産み育てながらも働きたい。」という病院で働く看護師さんの声で、昭和44年4月に開園されました。後に建物は平成5年に新築された園舎に移っています。その後、宇都宮病院が独立行政法人になると共に保育園はビジョン株式会社の委託運営となりました。

開園当時から《家庭的な雰囲気の中で》をモットーに保育されてきましたが、今はプラス《育つ力を育てる》を保育理念とし、赤ちゃんから幼児への目覚ましい成長の時期をゆったりと、清潔な環境で、規則正しい生活習慣を身につけることを目標に保育をすすめています。岡本の大自然(?)に囲まれた環境に感謝し、特に今年度は季節に関するあそびや製作、郷土料理を意識した年間行事予定を立てています。戸外あそびや散歩を楽しみ、園庭の横には子どもたちと野菜を作り、プチ料理をしたいと計画しています。病院敷地内にお越しの際はぜひお立ち寄りください。かわいい笑顔と実った野菜たちに会えるかも(^o^)/...

現在、保育園では病院に勤務している方のお子様のほか、病院外のお子様にも仲間になって頂きたいと園児を募集しております。(詳しくは、直接保育園にお問い合わせ下さい)



## 編集後記

冬季オリンピックでは数々のスーパープレイが見られました。6月からはサッカーワールドカップが始まります。今度は、どんなスーパープレイが見られるのか、どの国が黄金のトロフィーを手中に収めるのか楽しみです。そして、日本の活躍にも期待したいものですね。

4月は人事異動によりスタッフの顔ぶれが変わります。フレッシュなスタッフも増えますので、より一層、医療安全に取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

庶務班長 田澤雅博



【福島 四季の里 かたくり】  
表紙撮影：赤川一則(西5病棟)

# 外来診療担当医表

平成 22年 4月 1日現在

診療科名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療科(初診)					
内科	沼尾 利郎 / 吉川弥須子	山崎龍太郎	伊藤 雅史 / 清水 裕晶 / 櫻井 紘子 / 安西真紀子	沼尾 利郎 / 田坂登司博	崎尾 浩由
外科	伊藤 知和	滝田 純子 / 最上 恭至	滝田 純子	伊藤 知和 / 最上 恭至	滝田 純子 / 里村 仁志
糖尿病・内分泌内科	午前 佐藤 稔 午後 佐藤 稔	森 豊	中野亜有子	佐藤 稔	清水 裕晶
神経内科	午前 伊藤 雅史 午後 伊藤 雅史			岡部 龍太	
消化器内科	午前 櫻井 紘子 午後 櫻井 紘子	菅谷 洋子	内園まり子	橋本 敬	菅谷 洋子
循環器内科	午前 午後	伊藤 致	大野 智之		
呼吸器科	午前 安西真紀子 午後 安西真紀子	沼尾 利郎	田坂登司博	野村 由至	吉川弥須子
腎臓内科 (午後)予約制				岡田和久(2・4週)	
小児科 午後		予 防 接 種 (小児)予約制		子供養育相談ルーム [予約制] (第2・4)	
小児アレルギー外来 (午後)予約制				中野俊至(1週)	
小児神経外来(午後)	奥野 章(3週)				
外科	午前 診 増田 典弘 午後 初診 伊藤 知和	伊藤 知和 滝田 純子	増田 典弘 里村 仁志	増田 典弘 最上 恭至	伊藤 知和 増田 典弘
整形外科	1 診 田中 孝昭 2 診 三橋 真	石川 義久	熊谷(第1週) 田中(第2・3・4週) 熊谷(第5週) 石川(第1・5週) 茶園(第2・4週) 熊谷(第3週)	三橋(第2・4週) 茶園(第1・3・5週)	熊谷 吉夫 石川 義久
リウマチ科 (整形外科1診)			熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)		
リハビリテーション			熊谷 吉夫	熊谷 吉夫	熊谷 吉夫
装具外来 歯科	田中 孝昭				熊谷 吉夫
眼科(午後)					松原 忠之 / 永田万由美 / 大沼 理恵
皮膚科(午後)		嶋岡 弥生			
耳鼻咽喉科(午後)		添田 弘			
物忘れ外来(午後・予約制)			伊藤 雅史		
禁煙外来(保険外診療)午後)					沼尾 利郎

## 外来受診案内

外来診療受付時間 8:30~ 11:00

外科は午後も診療しております(診療時間 14:00~ 16:00)

水曜日の糖尿病内内分泌内科については、再診の患者さまのみの診療となります。

小児科・小児アレルギー外来・小児神経外来・眼科・皮膚科・物忘れ外来・禁煙外来は地域医療連携室にて電話予約を受け付けております。

小児科診療 14:00~ 16:00 眼科診療 14:00~ 16:30 皮膚科診療 13:30~ 16:30 物忘れ外来 14:00~ 15:00

地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通)

担当 永山悦子(ソーシャルワーカー) 宇梶多恵(ソーシャルワーカー)



独立行政法人(NHO)  
国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町 2160  
TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148  
<http://www.hosp.go.jp/utsuno/>